

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
150007	X-01-A-0-150007			【1・2年次生】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科 【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1・3年次生】経営情報学部経営学科 【1・3年次生】経営情報学部情報システム学科 【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース 【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
授業科目	担当教員	1	前期		×	×	×
日本語 1	佐々木 香織				×	×	×

授業目的

新聞、新書などの文章を読み、人文社会科学の専門科目を受講する際に必要な語彙、文法、表現を学び、日本語での講義に積極的に参加できるよう日本語の運用力を高めることを目指す。また、適宜映像メディアも利用して、総合的な情報リテラシーの向上もを目指す。

国際社会で必要な知識を身に付けることをを目指す。

各回の授業内容

第1回	【授】 レベルチェック・テスト 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。日本語でどのようなことができるようになりたいか、授業の時言えるようにしておく。	第9回	【授】 興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめ POSSIBILITY ができるよう に、新書などを読む。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第2回	【授】 テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでい く。 【前・後】 予習復習に4時間程度。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示し たテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。	第10回	【授】 興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめ POSSIBILITY ができるよう に、新書などを読む。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第3回	【授】 テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでい く。 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付 資料の該当箇所を熟読しておくこと	第11回	【授】 長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめ POSSIBILITIY ができるよう に、新書などを読む。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第4回	【授】 テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでい く。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第12回	【授】 なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第5回	【授】 テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでい く。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第13回	【授】 なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第6回	【授】 テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでい く。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第14回	【授】 なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第7回	【授】 興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめ POSSIBILITIY ができるよう に、新書などを読む。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第15回	【授】 なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと
第8回	【授】 興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめ POSSIBILITIY ができるよう に、新書などを読む。 【前・後】 予習復習に4時間程度必要。前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指 示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと	第16回	【授】 期末テストかレポート 【前・後】 必要に応じて返却する。

成績評価方法

評価の目安：定期試験 50%、授業内レポート 15%、課題 15%、授業態度 20%

授業内レポートは添削しテストは採点後返却時に解説します。

教科書・参考書

レベルチェックテストの結果をみて、受講生と相談のうえ決める。決まるまではプリントを用意する。

受講に当たっての留意事項

出席は当然のことながら、授業時間以外にも、単語の意味を調べるなどの最低限の予習は必須です。

実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表 等）の実施
○	国際交流基金シドニー日本文化センターでの教員研修や講座運営の経験を活かした日本語指導	○

学習到達目標

学生のレベルが同じでない場合もあるので、各自で立てた目標に向けて、できるだけの支援をします。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習